

日々の田高（ボランティアコーディネーターさんが来校されました）

令和6年12月13日（金）の放課後の時間帯、おおた地域共生ボランティアセンターの職員2名が、田園調布高校に来てくれました。

これは、「冬休み期間に、ボランティアをしたいと思っているけれど、どうしたらいいかわからない」「ボランティアセンターに行くのは勇気がいる」という生徒の声を受けて、おおた地域共生ボランティアセンターにお願いをして、実現したものです。

高校生が数多く参加する夏体験ボランティアの活動内容を説明したり、動画を見たりしながら、イメージをもってもらい、活動への一歩を踏みだしてほしいと考えて企画しました。

当日は、1年生が4名、2年生が6名の計10名の参加がありました。グループで会場に来た生徒もいれば、一人で来た生徒もいます。これまでのボランティア経験について聞いてみると、未経験者もいれば中学生の時に駅前で花壇の整備をしたという経験者もありました。

会場では、ボランティアコーディネーターさんから、活動の概要や、活動の良さ、留意点、保険加入方法、活動希望先への連絡方法を確認したり、温かい雰囲気の中で進んでいました。

自ら、社会に出て、様々な人と関わり、その人の思いを知り、自分の考えや経験の幅を広げてほしいと願っています。



校内の掲示板で案内をしました。



昇降口にも掲示しました。



手前で活動に関するお話をしたり、奥のモニターで夏体験ボランティアの動画を見て、イメージを持ちます。右上のQRコードは、[生徒が見た夏ボラPR動画](#)です。（社会福祉協議会のページです。）